

令和4年度 砺波市野球大会実施要綱

この要綱は、公認野球規則・競技者必携に基づき、チーム及び選手の競技技術及びマナーの向上を図り、適正に大会運営を図ることを目的に定める。

1 試合

(1) 一般・少年部（中学生）

7イニング又は1時間30分を超えて新しいイニングに入らない。

ただし、決勝戦は、時間制限を適用しない。

※北日本新聞朝間野球富山県大会市予選の決勝戦は、時間制限を適用する。

(2) 学童部（小学生）

（公財）全日本軟式野球連盟の「学童野球新ルールの導入」に基づき、6イニング又は1時間30分経過後の均等回完了をもって終了する。

試合経過時間は、大会本部が管理し、試合開始時間及び制限時間に達した時は、両チームに通告する。

2 投手の投球制限

(1) 少年部（中学生）

1人の投手は、1日100球以内を投球できる。試合中に100球に達した場合、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。また、1週間の投球数は350球以内とする。

(2) 学童部（小学生）

1人の投手は、1日70球以内（ただし、4年生は60球以内）を投球できる。

試合中に70球（60球）に達した場合は、その打者が、打撃を完了するまで投球できる。

3 同点の場合は、延長戦は行わず、タイブレークを適用する。決勝戦も同様とする。

※最終イニングの前のイニングで同点の場合は、最終イニングよりタイブレークを適用する。

※次のイニングで1時間30分を超えると予想される場合は次のイニングより、タイブレークを適用する。

《タイブレーク方式》

継続打順で、前のイニングの最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁の走者とする。

すなわち、0アウト・二塁の状態にして1イニングを行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決しない場合は、これを繰り返す。

ただし、9イニングを完了して勝敗が決着しない場合は、抽選より勝敗を決める。

※北日本新聞朝間野球富山県大会市予選は、すべての試合において、タイブレークを適用しない。

7イニング及び1時間30分を経過し同点の場合は、再試合とする。

4 得点差によるコールドゲームは、5イニング以降7点差とする。決勝戦も同様とする。

5 雨天又は、日没によるコールドゲームは、5イニングが終了すると成立する。

6 チームは、3イニング（学童は、2イニング）終了後、直ちにオーダー表を提出し、攻守を決める。

ただし、第1試合目は、試合開始予定時刻の20分前とする。

7 試合開始予定時刻になってもプレーができる状態になっていない場合は、棄権とする。

8 抽選番号の若いチームのダッグアウト（ベンチ）は、1塁側とする。

9 ダッグアウトに入る選手は、最低10名以上でなければならない。

10 試合中にダッグアウトに入れるのは、チーム代表者・スコアラー・監督・コーチ・選手・マネージャーとする。

11 服装については、全員がユニフォーム・帽子・ストッキング等が、同色・同形・同意匠でなければならない。

12 試合前のシートノックは行わない。

13 プレーヤー・審判に対する個人的なヤジは禁止する。違反した場合、審判・控審判が注意を与え、再び、注意を与えても対応しない時は、退場となる。

14 プレーに関して確認する際は、当該プレーヤー・監督・主将のうち1名とする。

15 審判の判定に関して、ストライク・ボール・アウト・セーフ等の確認はできない。

16 攻守交替は、すべて駆け足とする。

17 試合中の内野手間の転送球は、1回以内とする。

ただし、天候・時間等により中止する場合もある。

18 グラウンド内はもちろんのこと、ベンチ内での喫煙は厳禁とする。

19 試合終了後のグラウンド整備・ダッグアウト内の整理・清掃・ごみの持帰りは、各チームで責任をもって行う。

20 試合に出場する捕手・ブルペンの捕手は、必ず、ファールカップを着用する。